

R. K. 英語英文学科・2年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間（語学勉強、ビザ申請手続きなど）

準備期間ですが、TOEFLの受験は12月までに受けておかないと大学にアプライする際に間に合わないので気をつけてください。TOEFLは受験料が約2万円と学生にはなかなか高いのですが、何回か受けて試験形式に慣れなければ自分の最大限のスコアを出すことは難しいと思います。アメリカの大学への申し込み期限は大学によると思いますが、協定留学と違い、大学探しから申し込み、その後の準備もすべて一から自分でしなければいけないのですごく大変でした。また、認定留学をした先輩が最近ではあまりいなかったのも、私もよく制度がわかっておらず、勝手に大学を選び、勝手に申し込み、受け入れが確定してから、交際交流センターにお伝えした時は大変驚かされていました。運よく、私の選んだ大学が同女の協定大学よりもレベルが低くないということで、承認していただけました。認定留学先大学の選択基準は協定大学よりもレベルが低くないことだそうです。認定留学を考えている方は、大学選びから国際交流センターに相談に行くことをお勧めします。ビザ手続きはややこしいだけで簡単です。

② 現地到着後（空港からの移手段・時間、オリエンテーション、諸手続きなど）

私の留学先は、空港から車で2時間の田舎なので、タクシーに乗りました。オリエンテーションはアメリカ人の生徒のオリエンテーションの1週間前に始まり、その期間で留学生と仲良くなり、環境にもなれました。諸手続きですが、認定留学なので自己責任です。留学先大学から送られてきた資料は全てじっくりと読んだ方がいいと思います。

③ 語学研修期間（英語圏：ESL, Academic Skills Study など、ソウル：韓国語集中講座）

◆ 語学研修先の施設・環境について

私は、ESLは受けずに、直接アメリカ人の学生と一緒に授業を受けました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は大変ですので、取りすぎないことと、授業のレベルに気を付けて下さい。100番台が入門レベル、1年生レベルです。ビザの関係で、フルタイムで単位を取らなければいけないので、単位数は1セメスター最低12です。試験は大変ですが、復習と宿題をすれば大丈夫だと思います。私は宿題に追われて復習をする時間はありませんでしたが、単位は落とさませんでした。

④ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学には朝7時から夜23時まで使えるジムがあり、図書館も試験1週間前から24時間空いており、深夜2時と4時にドーナツとコーヒーが配られます。食堂も寮もキャンパス内なので、すごく楽でした。

◆ 履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容）

秋学期

- visual arts：アートの歴史や作品について学ぶ授業。
- computer info process：コンピューターの仕組みについて。
- consumer economics：消費経済学。マイクロエコノミクスに近いです。
- composition for international students: 留学生用のライティングクラス。
- mass media and society: コミュニケーション、ジャーナリズムについて。
- walking for fitness：ウォーキングとランニング。

春学期

- digital art foundations: デジタルアート関連のプログラムを学ぶ授業。
- principle of marketing: マーケティング
- writing for media: 新聞記事や広告コピーなどのメディアに関するライティング。
- advertising principle and practices: アドバタイジング。

春学期は、300番台のクラスを2つ principle of marketing と advertising principle and practices をとったので、秋学期よりも取得単位数を減らし、勉強時間を確保できるようにしました。

◆ 授業、レポート、定期試験

大変ですが、頑張れば大丈夫です。経済学のクラスは難しかったのですが、たまたまそのクラスで仲良くなった友達と一緒に勉強して、助けてもらいました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動、インターンシップ

ボランティアはときどき参加する程度でした。

インターンシップは3ヶ月間LAでした。受け入れてもらうのがすごく難しく、私は探し始めるのも遅かったため、インターンシップ紹介会社を通じて見つけました。

- ⑥ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について
（寮・ホームステイの決定方法、設備、食事内容、通学距離・時間など）
キャンパス内の寮に住み、食事は毎食カフェテリアでした。
- ⑦ 長期休暇の過ごし方
友達と旅行したり、NYの親戚を訪ねたりしました。
- ⑧ 留学期間中の就職活動の取り組み
私は2年の秋から3年の春までなので、何もませんでした。

II. 留学の感想

- ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること
友達と生活を共にするので、ただの友達ではなく家族のようになりました。
- ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと
田舎だったので、アジア人を見慣れていないアメリカ人の対応が辛い時もありました。
- ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと
食生活の違いで私は8キロ太りました。

III. 留学希望者へのアドバイス

- ① 留学先大学の良かった点、悪かった点
良かった点は、少人数制クラス、大自然の中で暮らせたこと。
悪かった点は、田舎すぎて、保守的な白人が多かったこと。
- ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）
パソコンは必須。薬や洗濯ネット、コンタクト、日本のお土産、ちょっとした日本食を気分転換に。
- ③ 語学力の向上等、留学の成果
日本語を全然使わなかったことと、アメリカ人のルームメイトにわからないことをいつも質問していたせいか、語学は伸びました。
- ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス
辛いこともたくさんありますが、ポジティブに楽しんで頑張ってください。

IV. 写真（1～2枚を貼付。各写真について100字以内程度で説明）



ドイツ人、フランス人、韓国人留学生とオリエンテーションにて。真ん中のイーグルは学校のマスコット。



ハロウィンの仮装。日本よりも本気度が高い。雨が降っていましたが、“trick or treat”もしました。